



教育は百年の計と言いますが、そこまで長期的なスパンで見るのはなかなか難しいものです。

それでも19日の授業を参観した方から、「幼い子どもを連れた保護者も多かったが、その子どもたちも静かに授業の様子を見ることができていた。今後も安心。」というお声をいただきました。幼い子を見て、小学校の今後、本山の今後に思いを巡らせる目に感心しました。

未来を思い描いてみる

その「幼い子を見る目」にあやかり、この日の授業から子どもたちの未来を思い描いてみました。

1年生。絵に描かれている花や一輪車などの数を数字に書き表す学習でした。「かんたん。かんたん。」という子もいれば、声にはしないけれども、まだ苦手な子もいることでしょう。それでも1年後は、ノートに書いている文字が驚くほどしっかりとすることを、今の2年生が示してくれました。一歩先を歩くいい先輩がいます。この1年生の1年後のノートを楽しみにしています。



2年生の道徳では、授業の最後に一人の男の子が「いい道徳になったなあ。」と声を上げました。自分の学びと、みんなとの学び合いに満足する経験。生涯学び続ける気持ちは、こういうところから育っていくのでしょうか。「いい国語になったなあ。」「いい夏休みだったなあ。」「いい1年間だったなあ。」と、たくさんの「いい」が積み重なっていくことを願っています。

3年生は、グループで物語の音読発表をしました。一人で読んだり、ところどころ数人で声を合わせて読んだり、群読は友達と「心をそろえる」ことがポイントです。発表を聞いたフロアの友達からも、「ナレーションのところをみんなで読むのがいい。」という感想が出ました。みんなでするのが、いい。そういった経験をこれからも、重ねてほしいと思います。



4年生も物語の音読発表。どのグループも「ここを伝えたい！」という思いをもって音読しました。4年生は、いろいろなことに人一倍「したい！」の強い学年です。知りたがりやでやりたがりの気持ちは宝物です。

5年生の道徳の学習。「あちらを立てればこちらが立たず」の状況で、自分はどうすればよいかを考えました。きっと答えに行きつく扉はいくつもあるのでしょうか。人生はこういった

迷いの連続です。この授業を最後まで見ることはできませんでしたが、子どもたちは、どんな自分の答えを見つけ出したのでしょうか。

6年生。参観された方から「どの学級も一人一人がしっかりと発表していて、周りの友達に質問するために話を聞くことができていた。そして、6年生が特に落ち着いて授業を受けられていた。」と感想をいただきました。PTA 総会でもお話したように、じっくりと時間をかけて考えられるのが6年生のよさです。本山小学校最後の卒業生は、すでにオンリー・ワンの片鱗を見せています。



お知らせ【4/28(月)～登下校時の服装について】

4月28日(月)から運動会練習を始めます。運動会の日まで、体操服で登下校してかまいません(黄色の通学帽子着用)。また、洗い替えとして、体操服の代わりにワンポイントまでの白Tシャツを着用してもかまいません。